

本森百景

京橋図書館だより

第9号

令和7年3月1日号

中央区立京橋図書館
中央区新富一丁目13番14号

今号の特集 働く人などが知りたい専門的な「知識欲」に応える5階フロア



屋上庭園



つどいの森



ライデン大学コーナー



洋書コーナー



ラウンジ

- 2・3 本森ピックアップ 5階フロア
[ビジネス・就労支援コーナー、パソコン・ITコーナー、洋書コーナー、ライデン大学コーナー、新着本コーナー、ラウンジ、1類（哲学・心理学・宗教）、3類（社会科学、経済学）、5類（技術・工学・工業）、6類（産業）、8類（言語）、つどいの森、屋上庭園、各階テラス]
- 4・5 本の森イベント報告
- 6・7 地域資料室
- 「小伝馬町細見」
[NHK 大河ドラマ
「べらぼう～蔦屋栄華乃夢断～」
でおなじみの蔦屋重三郎]
- 8 2024 貸出資料ランキング

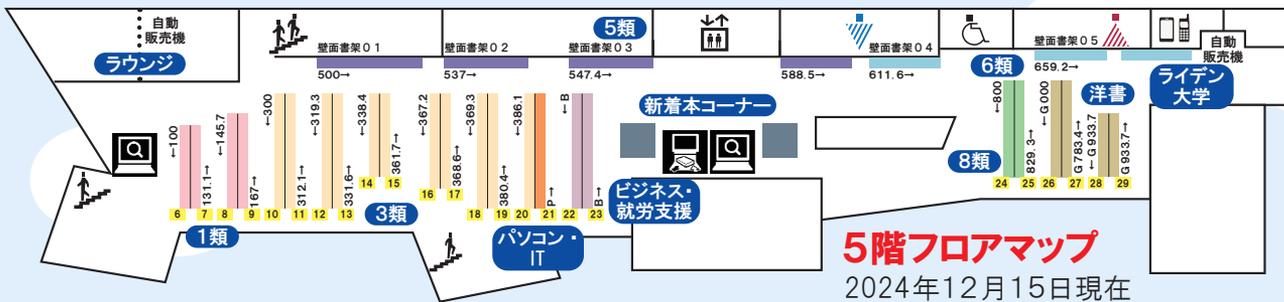


本の森
ちゅうおう
HON no MORI CHUO

中央区立京橋図書館 Chuo City Kyobashi Library
中央区立郷土資料館 Chuo City Chuo Historical Museum

第23回 緑化技術コンクール
緑化施設部門
国土交通大臣賞受賞

大都市東京の真ん中で森を感じる場、歴史・文化に親しむ「知の森」を意図した緑化施設。都の緑化基準の約2倍の豊かな緑に包まれた快適な読書環境と周辺の公共施設群を緑でつなぐべく、多様で立体的な緑化計画、確実な緑化技術を活用した点などが高く評価されました。



〈1類 哲学・心理学・倫理学・宗教他〉

人間の精神世界にまつわる資料が置かれています。哲学や倫理・宗教は抽象的で難解なものだと敬遠されがちですが、古来より人々の営みから生じる疑問や概念を追求し、思想として磨きをかけてきたものです。私たちは先の見えない混迷の時代を生きていますが、そんな今だからこそ、先人たちの叡智のなかにヒントを見つけることができるかもしれません。



哲学・心理学・倫理学・宗教他コーナー

〈3類 社会科学・政治・経済学・教育他〉

政治に関する資料、法律関連から、企業・経営、金融・経済、労働や、社会福祉、教育、風俗、国防など社会に関する様々な資料がこちらの棚に収集されています。同フロアにはビジネス・就労支援コーナーを設けていますが、こちらの棚にもビジネスに関する資料を多数配架しています。



社会科学・政治・経済学・教育他のコーナー

〈新着本コーナー〉

エレベーターのすぐそばにある台形の棚に、京橋図書館で新たに所蔵した本を分野ごとに分けて置いてあります。本の背表紙についているラベルの最初の桁が0～8で始まる新着本をすべて置いてありますので5階にお寄りの際は、ぜひご覧ください。9から始まる新着本は3階メインカウンター前にあります。



新着本コーナー

〈ラウンジ〉

勉強に一息入れたい時、小腹が空いた時などは5階のラウンジをご利用ください。2階から5階までの図書館エリア内で、食事をとることができる唯一の場所です。飲物の自動販売機も設置しています。※長時間の席の独占はご遠慮ください。また、会話も可能な部屋となっています。静かな環境で席をご利用になりたい方は、予約席(3階・4階)の一般学習室をご利用ください。



ラウンジ

〈つどいの森、屋上庭園、各階テラス〉

「本の森ちゅうおう」はその名のとおり、緑豊かな図書館でもあります。「つどいの森」は、2階フロアと同じ高さであり、図書館の外から直接階段で上がっていくこともできる空中庭園です。屋上庭園には展望台があり、定期的に天体観望会が開かれています。

また、各階テラスに出て風を感じながら読書をすることもできます。
 ※つどいの森、屋上、各階テラスの利用時間：
 4～10月：午前9時～午後7時 11～3月：午前9時～午後5時
 ※屋上、各階テラスは、ふた付きの飲料以外の飲食はできません。
 ※各階テラスでの携帯電話のご使用はできません。「つどいの森」、4階・5階の携帯電話使用室をご利用ください。



展望台から八丁堀の街を望める屋上庭園



2階～5階には風を感じるテラス席も(4階)



2階フロア脇にある緑豊かenyつどいの森

本森ピックアップ 5F

ビジネス・就労支援コーナー、PC・ITコーナー、洋書コーナー、1類、3類、5類、6類、8類、屋上庭園、つどいの森、各階テラス、ラウンジ他

ビジネス・就労支援コーナーやパソコン・ITコーナーなど働く方々の強い味方となるフロアです。他にも哲学や心理学、技術・工学、産業から言語まで、さまざまなジャンルの資料を取り揃えています。飲食可能なラウンジも併設し、ひとときの休息も、お楽しみいただけます。働く方や専門の知識欲あふれる方に、きっと助けとなる拠り所5階フロアをぜひご利用ください。

〈ライデン大学コーナー〉

1575年にオランダで設立され、ヨーロッパでも古い大学のひとつとされるライデン大学。中央区にあった東京事務所では、日蘭の学生や研究者の交流を始め、日本国内の大学との関係維持や研究プログラムの継続など、アジア研究の支援に貢献されてきました。事務所の閉室にともない、経済書を中心に多様な洋書を寄贈していただきました。



ライデン大学コーナー

〈洋書コーナー〉

日本語以外の諸言語で書かれた資料を収めています。現在の本の森ちゅうおうに移転する際、大幅に所蔵数を増やしました。現在は英語の小説が中心ですが、今後は更に言語の種類とジャンルを拡充する予定です。難易度別・単語数別でレベル分けされた多読シリーズも「ペンギン・リーダーズ」をはじめ複数所蔵しています。



洋書コーナー

〈5類 技術（工学・工業他）〉

細かい電子機器から巨大な建築物まで、技術や工学・工業に関する資料を収集しています。※590～599家政学(料理や裁縫などは、2階くらしのコーナーにあります。

※力学・物理学・化学・数学など4類の書籍は、4階400～の棚にあります。



技術（工学・工業他）のコーナー

〈6類 産業（農業・商業他）〉

農林水産業、畜産、商業、運輸、通信業の棚です。ガーデニングやペットの飼い方もこの棚にあります。変わった動物や生き物の飼育方法がわかるかもしれません。



産業（農業・商業他）のコーナー

〈8類 言語（日本語・英語他）〉

日本語をはじめ、諸言語など、語学を学習するための資料を収集しています。英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、中国語などの辞書も、こちらの棚にあります。



言語（日本語・英語他）のコーナー

〈ビジネス・就労支援コーナー〉

ビジネスパーソンへ向けて、経営や人事などのマネジメントや、営業・集客といったマーケティング、従業員のメンタルヘルスにいたるまで、時代のニーズに合ったさまざまなビジネス書を揃えています。また、就職活動をサポートする資料や、個人で起業を目指す方に必要な会社設立の基礎知識などのスタートアップ支援に関する本も揃えています。そのほか、公的機関の就労支援に関するチラシも置いています。



ビジネス・就労支援コーナー

〈パソコン・ITコーナー〉

ChatGPT、生成AI、メタバース。日進月歩の成長をとげる情報社会に対応すべく、パソコンやITに関する資料を集め、プログラミング言語やソフトウェアなど資料の内容で細分化しました。初級者から上級者まで幅広い層の方にご利用いただける実用的な資料を収集しています。



パソコン・ITコーナー

毎回ご好評いただいている1階多目的ホールで開催のイベント。ご来館の皆さまも、とても楽しみにしていただき、ずいぶん定着してきました。今回は2024年7月～12月に、多目的ホールで開催した11のイベントと月ごとに変わる書籍の展示コーナーをご紹介します。

10月20日（日）0歳～3歳向け、4歳～小学生向け

児童対象イベント「ハロウィン工作会」

0歳～3歳向けは、お面作りとハロウィンにちなんだ絵本の読み聞かせ、親子でのふれあいあそび歌を行いました。4歳～小学生向けは、読み聞かせの後、ジャック・オー・ランタンをイメージしたスライムを作りました。仮装をした子どもに負けじとスタッフも仮装して、みんなで楽しいひと時を過ごしました。フォトスポットも大好評で、親子で楽しんでいただけたのではないのでしょうか。



ハロウィン工作会

8月18日（日）第1回本森亭

「金原亭馬生落語会」

「本森亭」と銘打った初めての落語会を開催しました。銀座生まれ銀座育ちの十一代目金原亭馬生師匠をお迎えして、中央区が舞台の落語「佃祭」を披露していただきました。馬生師匠にはもう一席「抜け雀」を、二ツ目金原亭小駒さんには「子ほめ」「ざるや」の二席を披露していただきました。「落語のいろは」「佃祭～次郎兵衛の足跡～」などのパネル展示も好評でした。



金原亭馬生師匠

12月1日（日）児玉竜一教授

「中央区・京橋をとりまく演劇の世界」

2024年は江戸歌舞伎発祥400年、築地小劇場創立100年の演劇にとって記念すべき年です。それを祝して、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館長の児玉竜一教授に、中央区で発展した演劇の歴史をお話していただきました。レジュメを片手に、軽妙でユーモアあふれた語り口に皆さま酔いしれ、いにしへの劇団や劇場に思いを馳せていらっしゃいました。



児玉竜一教授

11月24日（日）絵本作家・石井聖岳さん

児童対象イベント「石井聖岳さんと、絵本作家になってみよう！」

絵本作家の仕事を体験するワークショップを行いました。文章の区切りや配置、キャラクターを作る際の工夫などの話を聞きながらのびのびと絵を描いていく子どもたち。最後は、今回のテキストの元になった『ぶかぶか』を、絵本を手掛けた先生による読み聞かせ。先生と子どもたちの会話がはずむ、おだやかなワークショップとなりました。



石井聖岳さんのワークショップ風景

ワークショップ：9月22日（日）作品展：9月23日（月・休）～25日（水）

小倉ゆき子先生が贈る「ニードルワーク作品展と刺しゅう糸で咲かせる花のワークショップ」

ニードルワーク作品展は、小倉ゆき子先生のご希望で自然光を利用した透ける作品も展示し、刺しゅうの魅力をも十分に発揮しました。作品一つ一つに手書きの説明がついており、先生の想いに触れるような展示会でした。ワークショップでは、自分で選んだ糸を使って、刺しゅうの花飾りを作りました。皆さん、素敵な刺しゅうの花を咲かせ、ブローチにして飾っておられました。



作品展会場風景

月間展示コーナー

「Kyobashi Book Market」（10月期）他

京橋図書館では、毎月テーマを決めて書籍の展示を行なっています。11ヶ所の各階展示コーナー、5ヶ所の階段展示ブースで図書館員が工夫を凝らして本を展示しています。10月は「Kyobashi Book Market」と銘打って図書館員全員のおすすめ本を展示しました。心に残る素敵な一冊を見つけていただければ幸いです。



3階 月間展示コーナー



階段展示（2～3階、8月期）

2024年7月～
12月開催イベント

本の森イベント報告

7月21日（日）わくわくキッズ・あべまりさん

児童対象イベント「本の森こども科学教室」

ラムネを水に入れると二酸化炭素が発生する実験を、わくわくキッズのあべまりさんに行っていたできました。初対面の子どもたちが、助け合っている様子も見受けられ、みんな集中して実験に取り組んでいました。重曹とクエン酸を使ったバスボム作りでは、出来上がった作品を前に、親子で喜んでいた姿が印象的でした。材料の購入方法などを聞いておられる方もおられました。ご自宅でも作られたのではないのでしょうか。



本の森こども科学教室

8月21日（水）午後6時30分～7時

児童対象イベント「夜の図書館で怖いおはなし会」

夕暮れ時のうすぐらくなってきた雰囲気の中で、怖いおはなし会が始まりました。

①絵本『きもだめし』②絵本『おんなのしろいあし』
③手遊び『おばけなんてないさ』④絵本『おいで』
⑤素話『三枚のお札』の計5つのおはなしを披露しました。会の途中で、偶然雷が鳴り、照明の演出もあいまって、怖さが増したようでした。



夜の図書館で怖いおはなし会

最後に『三枚のお札』に出てくるお札をプレゼントしました。

7月27日（土）日本郵便ペンフレンドクラブアドバイザー・清水章子さん

「知っているようで知らない郵便のしくみ～聞いてびっくり、こんなものまで送れちゃう～」

中央区郵便局にご協力いただき、日本郵便（JP）ペンフレンドクラブアドバイザーの清水章子さんをお迎えし、郵便の種類や遠方への配達方法など、郵便物が投函されてから目的地に届くまでのお話とはがきや定形外郵便である、うちわにお手紙を書くワークショップを行いました。会場では郵便局長が実際の風景印を押し、移動式ポストに投函してお友達や家族にお手紙を送る、一日限りの「本の森郵便局」を楽しんでいました。



「郵便のしくみ」講演風景

7月28日（日）手話エンターテイナー・^{なすえり}那須映里さん

「手話エンターテイナーが伝える、日本手話の世界」

デフファミリーのろう文化で育ち、日本手話を第一言語とする、手話エンターテイナーの那須映里さんをお迎えし、ろう文化や日本手話の文化・魅力について手話で教えていただきました。手話を見て、内容を当てるクイズも実施し、身近な言語としての手話コミュニケーションを楽しむ様子が伺えました。終了後「いいきっかけづくりになれたら…と思いつつながら講演し、皆様の顔を見て私もうれしくなりました。」と、講師も喜んでいました。



手話エンターテイナー那須映里氏

10月13日（日）築地居留地研究会理事 中島耕二先生

「中央区にあった外国『築地居留地』」

明治2年（1869）に築地に外国人居留地が開設され、明治32年（1899）の改正条約実施により、その幕を閉じるまで「築地居留地」は、日本における近代文化の発祥の地としての役割を果たしてきました。その「築地居留地」の歴史や活動について、写真や年表、スライド資料を交えて中島耕二先生に講演していただきました。当時を偲ばせる錦絵やパネルの展示も行いました。



中島耕二先生

11月6日（水）^{まきひろ}辻原万規彦教授

「戦前期東京の火災保険地図の魅力」

火災保険会社の業務のために作製された、戦前の東京の居住者名や建物の名称、建物の構造や階高などが手描きで詳しく記された戦前の東京の町並みを知ることができる「火災保険地図」の魅力について講演していただきました。また株式会社マービー様のご協力により、過去から現在までの「製図器」の展示と実演も行いました。



辻原万規彦教授

「小伝馬町細見」

【由来】

現在の日本橋小伝馬町一带は、徳川家康の江戸入府以前は、奥州街道沿いの千代田村にあたり、「六本木」という宿駅があったといわれています。小伝馬町のおこりは、慶長11年（1606）、伝馬役を担う人々の町が江戸城内から当地に移転したことに始まります。町名は、町名主の宮辺又四郎が伝馬御用を司ったこと由来します。

【伝馬町牢屋敷】

江戸の犯罪人の収容施設は、家康の入府直後には常盤橋の門外、現在の日



「日本橋北内神田両国浜町明細図」(部分)
嘉永3年刊行 (中央区立郷土資料館)
「囚獄 石出帯刀」と書かれた区画が伝馬町牢屋敷

本銀行付近にありました。後に小伝馬町に移され、「伝馬町牢屋敷」と呼ばれて明治8年（1875）まで存



「旧幕時代牢屋敷の全景」(新撰東京名所図会)

続しました。未決囚の収容先となり、2600坪以上の広大な敷地の周囲に濠を巡らし、南に表門、その西に牢屋奉行の石出帯刀の役宅がありました。幕末に吉田松陰が処刑された地として知られ、現在十思公園の一角には、吉田松陰終焉の地に関する碑が建っています。その十思公園と、隣接する十思スクエアとを含む一带が牢屋敷の跡地と重なります。

【神田八丁堀】

日本橋と神田の境界だった、かつての竜閑川は、小伝馬町の北辺を流



「江戸伝馬町処刑場跡碑」(平成17年)

れていました。当地は初め、明暦の大火後に火除地として整備され、長さ八丁(約870メートル)の土手が築かれました。その後元禄年間に、土手沿いに運河を掘り、外濠から水を通して防火用の堀としました。江戸期、この運河は神田八丁堀、または神田堀と呼ばれましたが、明治になつて竜閑川と改められ、昭和25年（1950）に埋立てられました。



「竜閑川一九道橋より火除橋方面一」
(昭和23年)

【石町「時の鐘」】

江戸の人々は、日常的に時刻を知る術として、市中の鐘の音を聞いたといいます。本石町にあった鐘は「石町時の鐘」と呼ばれ、辻源七なる者が鐘をつき、音の聞こえる範囲から料金を徴収していました。明治になつて役目を終えた鐘は、しばらく本石町内にありましたが、関東大震災を経た後、昭和に入つて十思公園に移

され、現在に至ります。



「石町時の鐘」(昭和43年)



「十思尋常小学校」(昭和3年)

【旧十思小学校】

十思公園に隣接する旧十思小学校は、開校時の行政区画、第一大区第十四小区の「十四」の音と、『資治通鑑』の「十思之疏」の「十思」の音をかけて校名が決まりました。明治10年（1877）の開校で、関東大震災では大きな被害を受けました。昭和3年（1928）、鉄筋コンクリート造の校舎が竣工し、復興小学校の一つとして平成2年（1990）まで存続しました。廃校後の校舎は、複合施設「十思スクエア」に転用されており、東京都選定歴史的建造物になっています。

【参考文献】

- 『中央区史 上巻』『中央区三十年史上巻』
- 『中央区の昔を語る 13 茅場町小伝馬町』
- 『中央区教育百年のあゆみ』
- 【画像出典】
- 「日本橋北内神田両国浜町明細図」
- 中央区立郷土資料館所蔵
- それ以外は全て中央区立京橋図書館所蔵

蔦重の店「耕書堂」が日本橋に進出！

NHK大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」でおなじみの蔦屋重三郎（つたやじゅうざぶろう）

吉原から日本橋に本拠を移して大活躍！

蔦重こと蔦屋重三郎は、寛延3年（1750）に江戸の吉原で生まれました。幼くして引手茶屋を営む蔦屋の養子となり、名は何理（からまろ）、通称を重三郎と言いました。

吉原に書肆（出版業者兼本屋）「耕書堂」を開業し、『吉原細見』の販売で頭角を現した蔦重は、天明3年（1783）9月、吉原の店は手代に任せ、日本橋の通油町に店を構えます。（現在の日本橋大伝馬町13番あたり）



①耕書堂の店先
『画本東都遊 3巻』

通油町は、常盤橋御門から浅草御門へ向かう江戸のメインストリート「本町通り」沿いにあり、蔦重の店の向かいに鶴屋喜右衛門の「仙鶴堂」、近くの馬喰町には西村屋与八の「永寿堂」といった有名な書肆がある、

出版業の盛んな土地柄でした。

この年、天明3年の江戸の様子を見てみると、天明の飢饉が始まり、地震や火事、大水といった災害も多く、7月には浅間山が噴火し、江戸にも火山灰が降りました。



②広重（二代）
『諸国名所百景
信州浅間山真景』

こうした時世に耕書堂が出版した本で代表的なものを種類別に挙げてみます。

◎狂歌本（和歌の形式に滑稽さや皮肉を込めた「狂歌」を集めた本）

『故混馬鹿集』（古今和歌集のパロディ。天明5年刊）

◎狂歌絵本（絵を中心にして狂歌を添えた本）

『画本虫撰』（蔦重宅に寓居していたことがある歌麿画。天明8年刊）

◎黄表紙（洒落や風刺を利かせた絵入り小説）

『江戸生艶気権妓』（当時の人気作家山東京伝作。天明5年刊）

天明7年（1787）に田沼時代が終わり、代わって老中となった松平定信の「寛政の改革」により、出版の規制が厳しくなります。

寛政3年（1791）、山東京伝の洒落本（遊里を舞台にした読み物）3作が風紀を乱すとして出版取締令に触れ、京伝は手鎖50日、版元の蔦重は財産の半分を没収させられました。



③歌麿
『青楼十二時 亥ノ刻』

資金繰りに苦しくなった蔦重は、それでも新たな出版に意欲を見せ、

浮世絵では自分と同じ姓を名乗った喜多川歌麿を美人画で売り出します。寛政6年（1794）には東洲斎写楽を登場させ、その迫真的な役者絵が評判になりました。

寛政9年（1797）に没するまで、蔦重は数多くの人気作品を出版し続けました。



④写楽
『市川鯉蔵の竹村定之進』

「非日常」の夢空間、吉原で生まれ育った蔦屋重三郎。彼が世に出した作品は、飢饉や災害に見舞われ、儉約と風俗規制の世の中にあつた江戸の庶民の「日常」を束の間忘れさせ、「栄華乃夢」を見させてくれたのではないのでしょうか。

耕書堂のあつた場所には中央区が説明板を設置しています。ぜひ足をお運び下さい。



⑤寛政9年正月、読者に向かつて年始の挨拶をする蔦重「身体開帳略縁起」

【参考文献】

- 『蔦屋重三郎と天明・寛政の浮世絵師たち』浮世絵太田記念美術館
- 『蔦屋重三郎の仕事』平凡社
- 『定本武江年表』筑摩書房
- 『日本近世の歴史4 田沼時代』吉川弘文館
- 【画像出典】
- ①②⑤ 国立国会図書館デジタルコレクション
- ③④ 東京国立博物館イメージアーカイブ

京橋図書館 2024年年間貸出資料部門別ランキング

皆様が借りていらっしゃる本、雑誌、CD、DVD をランキングにしました。これから借りる資料の参考にご覧ください。
貸出対象期間 2024年1月～12月

●一般資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル/作者
1	108	クスノキの番人/東野圭吾
2	99	汝、星のごとく/凧良ゆう
3	95	同志少女よ、敵を撃て/逢坂冬馬
3	95	成瀬は天下を取りにい/宮島未奈
4	90	あなたが誰かを殺した/東野圭吾
5	84	木挽町のあだ討ち/永井紗耶子
6	83	魔女と過ごした七日間/東野圭吾
7	82	52 ヘルツのクジラたち/町田そのこ
8	81	白鳥とコウモリ/東野圭吾
9	78	くもをさがす/西 加奈子
10	77	透明な螺旋/東野圭吾

●児童資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル/作者など
1	203	だるまさんが/かがくい ひろし
2	181	サンドイッチサンドイッチ/小西英子
3	164	だるまさんの/かがくい ひろし
3	164	おつきさまこんばんは/林 明子
4	163	がたんごとんがたんごとん/安西水丸
5	155	だるまさんと/かがくい ひろし
6	152	おばけのバーバパパ/アネット・チゾン、タラス・テイラー
7	149	くだもの/平山和子
8	145	いろいろたまご/山岡ひかる
8	145	からすのパンやさん/かこ さとし
9	141	ねずみくんのチョコッキ/なかえ よしを
10	140	なーんだなんだ/カズコ G・ストーン

●ティーンズ資料ランキング

順位	貸出回数	タイトル/作者・監修など
1	59	かがみの孤城/辻村深月
2	41	ライオンのおやつ/小川 糸
3	38	地雷グリコ/青崎有吾
3	38	推し、燃ゆ/宇佐見りん
4	35	東大教授がおしえるやばい日本史/本郷和人
5	33	逆ソクラテス/伊坂幸太郎
6	32	火の鳥 1 黎明編/手塚治虫
7	31	火の鳥 2 未来編/手塚治虫
7	31	君色パレット [1-1] ちょっと気になるあの人
7	31	君色パレット [1-3] SNS で繋がるあの人
7	31	5秒後に意外な結末-アポロンの黄色い太陽-/桃戸ハル

●雑誌ランキング

順位	貸出回数	分野	タイトル
1	711	女性誌	クロワッサン
2	673	児童	こどものとも 0.1.2.
3	571	経済・金融	プレジデント
4	509	経済・金融	週刊東洋経済
5	487	経済・金融	週刊ダイヤモンド
6	434	総合誌	Tarzan
7	424	女性誌	日経 WOMAN
8	372	趣味・娯楽	おとなの週末
9	354	児童	こどものとも 年少版
10	331	服飾・料理	dancyu

●CD ランキング

順位	貸出回数	タイトル/アーティストなど
1	28	ユーミン万歳!/松任谷由実
2	27	First Love/宇多田ヒカル
3	26	いつも何処かで/桑田佳祐
3	26	フェイクファー/スピッツ
4	25	ハックニー・ダイヤモンド/ザ・ローリング・ストーンズ
4	25	LOVE ALL SERVE ALL/藤井 風

●DVD ランキング

順位	貸出回数	タイトル/監督・原作など
1	27	三度目の殺人/是枝裕和
1	27	ベイマックス/ドン・ホール、クリス・ウィリアムズ
1	27	世界のテロ情勢と対策/警察協会
1	27	STOP! 子供の性被害/警察協会・警視庁
2	25	すばらしき世界/西川美和
3	24	梅切らぬバカ/和島香太郎

編集後記

本の森ちゅうおう京橋図書館が開館してから、昨年12月に2周年を迎えることができました。これも皆さまのご愛顧の賜物と厚く御礼申し上げます。本森百景も5号を数え、今号は「働く大人のフロア」をコンセプトとした5Fフロアを紹介しています。これからも皆さまに心地よくご利用いただける京橋図書館、イベントや展示が楽しめる本の森ちゅうおうの実現を目指してまいります。どうぞ、よろしく願いいたします。

京橋図書館館長